



令和 5 年 1 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 高橋 章子

一年の始まりは「箱根駅伝」から

園長 高橋 章子

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

お正月と言えば、我が家は「箱根駅伝」のテレビ観戦が定番です。駅伝が始まると、テレビの前から動けなくなってしまうため、その日一日の予定をこなしていくのがなかなか大変な私です。

今年は、駒澤大学が優勝しました。1区から10区まで数々のドラマがあり、いつも涙腺が緩みっぱなしです。

駒澤大学優勝後の大八木監督のインタビューの中に、選手一人ひとりへの言葉かけが異なるという内容がありました。『それは、この子供園でも一緒ではないの!』と思わず独り言の私です。

その選手にとって、どんな言葉が心に響くのか、気持ちを奮い立たせていくのか、そして支えていくのか、きっと監督が選手と毎日関わりながらよく観察し、言葉を選んでいくのでしょう。当日10区間の選手として選出されてもそうでなくても、一人ひとりがそれぞれの立場で駅伝に参加していくために、きっと監督も細やかに丁寧に見守り指導してきているのだな、と改めて感じ入った今年の「箱根駅伝」でした。

さて、子供園も子どもたちとの関わりから、一人ひとりの育ちや心もちに添った言葉を担任は考え伝えていかれるよう努力しています。同じような場面での指導でも、4月当初の声かけと今では全く異なる言葉をかけています。担任は、その学年の長期短期の指導計画を基に、遊具用具の準備やよりよい言葉かけや関わりを工夫し、子どもたちの成長に即した最適と考える環境と援助を心がけています。特に、幼児期の子どもたちは言葉を沢山学び吸収していきます。人との関わりにおいて、言葉が重要な架け橋になることを肝に銘じ、豊かな言葉を私たち自身も学び続け、子どもたちと園生活を送っていきます。

昨年末は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、保護者会が延期となっていました。予定をしていただいたにも関わらず申し訳ありませんでした。始業式以降、順次保護者会を行います。各担任も、二学期の子どもたちの遊びや生活を通して大きく育った姿について、写真をまじえながらお伝えしていく準備をしています。ぜひ、ご参加ください。

一年まとめの三学期です。各学年の「今月の指導」にもあるように、一人ひとりが自信をもって次のステップに進んでいかれるよう努力してまいります。今学期もどうぞよろしく願いいたします。



うさぎ組

保育室では、動物やキャラクターになって遊ぶことを楽しんでいます。自分の想像の中だけでも十分になりきって遊ぶことが出来るうさぎ組ですが、身に着けるものを自分なりに作ると、さらに遊びが楽しくなっています。保育室だけでなく、園庭でのままごと遊びも楽しくなってきた、寒さをものともせず、砂や落ち葉で料理をしたり、ゴザを敷いて横になってみたりして、戸外の解放感や心地よさを感じながら遊んでいます。

1 月は次のことを重点に指導していきます。

- 生活の仕方が分かり、自分の身の回りのことは自分でやろうとする。
- 保育者と一緒にお正月遊びを楽しむ。
- 好きな遊びでなりきって動いたり、自分なりに思いを表したりする楽しさを感じる。

休み明けには、冬休みの楽しかったことを話したり、コマや絵合わせなどの正月遊びを楽しんだりしながら、久しぶりにみんなと顔を合わせる嬉しさや楽しさを感じられるようにしていきます。

ぱんだ組

2 学期は、運動会でみんなの中で伸び伸びと踊ったり、劇場ではなりきって表現したりと、たくさんの経験を経て自信がついたぱんだ組です。遊びでは、コマや鉄棒・縄跳び等に取り組み、できるようになる嬉しさを感じていました。また、遊びに必要な物を自分なりに考えて作ったり、自分の思いを友達に伝えたりしながら一緒に遊びを進める姿もよく見られるようになりました。今まで以上に“友達と一緒に遊ぶこと”を楽しんでいました。

1 月は次のことを重点的に指導していきます。

- 友達や保育者と一緒にお正月遊びを楽しむ。
- 遊びや生活に必要なことを友達と一緒にやってみようとする。
- “できるようになりたい”という思いをもって繰り返し取り組むことを楽しむ。

友達や保育者とお正月遊びを楽しみながら、一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにしていきます。年末から楽しんでいるコマ回しは、友達からの刺激を受けながら繰り返し挑戦し、回せるようになることに喜びを感じられるようにしていきます。

外でも、ボール遊び、鬼ごっこや縄跳び等、体を動かして遊ぶことを楽しみ、寒さに負けない元気な体づくりをしていきます。

きりん組

運動会や堀ノ内劇場等の大きな行事をやり遂げた達成感や満足感から、一人ひとりが自信をもち、大きく成長した 2 学期でした。遊びや生活の中でも、友達と力を合わせて取り組みたいという気持ちが強くなってきました。好きな遊びでは、「本物のように作りたい」というこだわりをもち、2～3 人のグループで電車やお店、人形や遊園地などを作り、それを合体させた街づくりを楽しんでいます。

1 月は次のことを重点に指導していきます。

- 友達と共通の目的をもって遊びや活動に取り組む中で、考えを出し合ったり、友達のよさを認めたりしながら、一緒に進めていく楽しさを味わう。
- 自分の目的に向かって繰り返し取り組み、やり遂げた満足感を味わう。

3 学期も寒さに負けず、ドッチボールや鬼遊びなどを友達と一緒に楽しみながら体を思いきり動かしていきます。また、かるたやすごろく、コマなどのお正月遊びも楽しんでいます。コマや縄跳びでは、できるようになりたいと繰り返し取り組む姿や、友達の刺激を受けて挑戦する姿があります。コツコツ取り組む姿やできるようになった喜びと一緒に共有したり、認めたりしていきながら一人ひとりの自信につなげていきます。